

ジオカタログの検索

[カタログ検索 (Catalog Search)] タブパネルでは、テキストや空間的な手法を使って、選択したジオカタログから得た検索結果をフィルタリングします。フィルタのためのテキストや地理座標を入力しない場合、選択したカタログにある全てのファイルとオブジェクトが [カタログ結果 (Catalog Result)] パネルに一覧表示されます。膨大な地理データにアクセスする場合は、これらの検索フィルタを使うと、一覧を簡素化したり表示したい個別の地理データレイヤを特定したり、処理するのに便利です。

テキスト検索

[テキスト検索 (Search Text)] フィールドに入力したテキストを使って、選択したジオカタログのうち、ファイル名やオブジェクト名、オブジェクトの説明、ファイルパス等にこのテキストを含むオブジェクトやファイルを特定します。テキストがファイル名 (*.rvc) の一部の場合、プロジェクトファイルの中の全てのオブジェクトが [カタログ結果] パネルに一覧表示されます。入力したテキストがファイルパス中のフォルダ名の中にある場合は、フォルダにある全てのファイルとオブジェクトが一覧表示されます。検索したいテキストを入力したら、フィールドの左にある [検索 (Search)] ボタンを押します。入力したテキストがファイルやオブジェクト名または説明に見つかった場合、[カタログ結果] タブパネルへ自動的に切り替わります。見つからなかった場合には、指定した検索基準ではオブジェクトが見つからなかったことを示すメッセージがポップアップされ、画面は [カタログ検索] タブパネルのままになります。検索するテキストを修正したり、他の検索フィルタを選んで再試行します。

座標による検索

地理座標を検索パラメータとして使用するには、[カタログ検索] パネルの上端付近にある [範囲の条件 (Extents must)] というトグルを選択します。このボタンにチェック印が入ると、座標に関連する他の全ての検索オプションが使えるようになります。検索範囲は、現在の処理で選択済みのレイヤの範囲とマッチングさせることで特定します。例えば、

- 開いている表示ウィンドウで、拡大表示した際に表示されているレイヤの範囲
- [オブジェクトの追加 (Add Objects)] ボタンで追加した、非表示のオブジェクト
- 入力した座標

[範囲の条件] オプションと座標フィールドの数は、「範囲 (Range)」や「ポイント (Point)」、その他オプションなど、その時 [カタログ検索] パネルで選ばれている選択肢

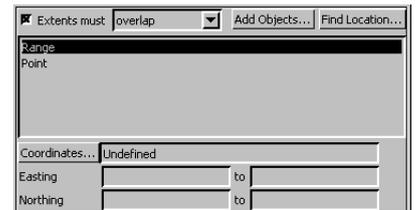
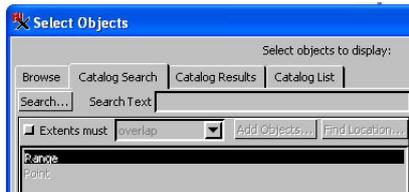
によって異なります。処理においてオブジェクトが選択されていない場合、座標検索方法として「範囲」と「ポイント」が表示されます。表示処理や表示ウィンドウを開く他の処理で既にレイヤを選択している場合、レイヤを含むグループ名やそのグループに属する表示ウィンドウの名前も一覧表示に加わります。一覧にはその時アクティブなグループのみが含まれます。

範囲 (Range)

「範囲」が座標検索方法として選択されている場合、[範囲の条件] オプションメニューには以下の3つの選択肢が現れます: 「含む (contain)」、「含まれる (be contained by)」、「重複 (overlap)」です。

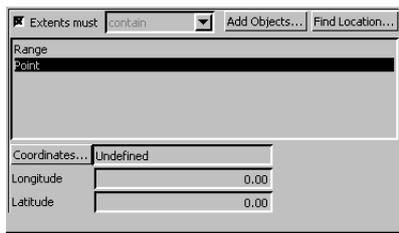
- 「含む」オプションは、[カタログ結果] パネル上のフィルタされた一覧にあるオブジェクトやファイルの座標範囲が、[カタログ検索] パネルで入力した座標で囲まれる領域を完全に含むことを意味します。指定した範囲は、フィルタした結果と同じかそれより小さくなります。
- 「含まれる」オプションは、フィルタされた結果の範囲がユーザが入力した範囲内に完全に収まることを意味します。入力した範囲は、フィルタした結果の範囲と同じかそれより大きくなります。
- 「重複」オプションは、[カタログ検索] パネルで指定した範囲の一部もしくは全てが、[カタログ結果] パネルにフィルタされ表示されているオブジェクト内にあることを意味します。

Google マップを用いた位置検索 インターネットに接続していれば、Google マップのジオコーディングサービスによって得られる範囲を用いて検索範囲を決めることもできます。[位置の検索 (Find Location)] ボタンを押すと < 位置 (Location) > ウィンドウが開きます。このウィンドウでは Google のデータベースの検索に使われるテキストを入力でき、Google が返す結果をフィルタリングできます。関心のある地球上の位置を定義した範囲の使い方は、上に述べたとおりです。検索を行う前に、Google マップの API キーを入手する必要があります。キーの入手および登録が必要な際は、この情報ウィンドウに表示されたメッセージに従ってください。



ポイント (Point)

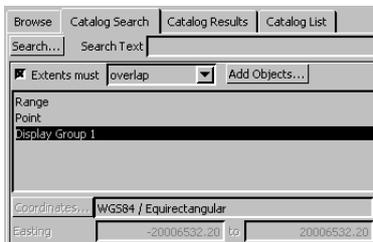
「ポイント」が座標検索方法として反転表示されている場合は、[範囲の条件]オプションは「含む」に設定されます(変更できません)。領域ではなくポイントを特定するので、地理座標の入力には2つのフィールドしかありません。



Extents must	contain	Add Objects...	Find Location...
Range	Point		
Coordinates...	Undefined		
Longitude	0.00		
Latitude	0.00		

ジオネームまたは Google の位置検索 インターネットに接続している時に[位置の検索]ボタンをクリックすれば、ジオネームまたは Google マップのデータベースに入力するテキストを使って検索できます。これらのデータベースは、入力したテキストによって特定されるポイントの座標を返します。<オブジェクトの選択>ウィンドウにおいて「ポイント」が検索基準として選択されていれば、この位置を含むオブジェクトやファイルを見つけるようにカタログ内容をフィルタすることができます。

グループ ジオリファレンスされたレイヤが含まれる場合、アクティブなグループの名前が[カタログ検索]パネルに表示されます。検索範囲としてグループが反転表示されている場合、表示されているグループの座標参照

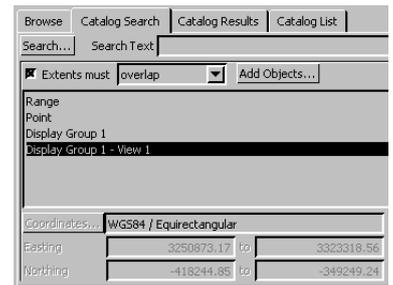


Extents must	overlap	Add Objects...	
Range	Display Group 1		
Coordinates...	WGS84 / Equirectangular		
Easting	-20006532.20 to 20006532.20		

系やグループの全範囲が、自動的に[座標 (Coordinates)]や[偏北距離 (Northing)]および[東偏距離 (Easting)]フィールドに入力されます。

表示ウィンドウ

アクティブグループの表示ウィンドウを拡大表示している場合、アクティブグループを表示している表示ウィンドウを選ぶこともできます。表示ウィンドウが検索範囲として反



Extents must	overlap	Add Objects...	
Range	Display Group 1 - View 1		
Coordinates...	WGS84 / Equirectangular		
Easting	3250973.17 to 3323318.56		
Northing	-418244.85 to -349249.24		

転表示している場合、表示しているグループの座標参照系や表示ウィンドウの全範囲が、自動的に[座標]や[偏北距離]および[東偏距離]フィールドに入力されます。

選択したオブジェクト

[オブジェクトの追加 (Add Objects)] ボタンをクリックして、ジオカタログの検索で範囲を提供するオブジェクトをファイルから選択すること

ができます。オブジェクト名が一覧に追加され、反転表示すると、オブジェクトの座標参照系と範囲が[座標]や[偏北距離]、[東偏距離]フィールドに表示されます。



Extents must	overlap	Add Objects...	
Range	Nebraska		
Coordinates...	Lambert Azimuthal Equal-Area		
Easting	-340280.75 to 400168.78		
Northing	-555728.68 to -214012.48		

